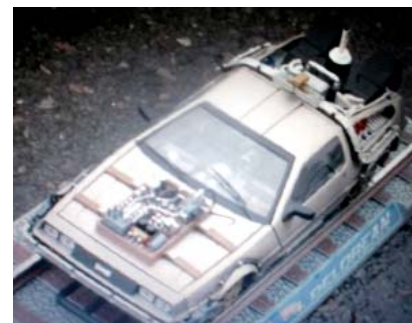


菜の花プロジェクト 天ぷら油で走る てんぷらカー



未来の車はゴミで走る 人気のSF映画バックトゥザフューチャー



菜の花プロジェクト



天ぷら油で走る夢の車



天ぷら油で走れる

- ディーゼルはピーナツ油で動くものだった。
- 石油 重油 軽油
天ぷら油でも動くんだよ

ガソリン車とディーゼル車

- ディーゼルエンジン (diesel engine) は、ディーゼル機関 (-きかん) ともいい、ドイツの技術者ルドルフ・ディーゼルが発明した内燃機関。1892年に発明され、1893年2月23日に特許を取得した。
- シリンダー内でピストンが空気を高圧に圧縮して高温にし、そこに燃料を噴射することで自然着火させる構造を基本とする。
- 実用的な内燃機関の中ではもっとも熱効率に優れる種類のエンジンであり、また軽油・重油などの一般的燃料の他にも、様々な種類の液体燃料が使用可能である

どうすれば天ぷら油で走れるの

- 天ぷら油は発火点が180度
どろどろしている
- 軽油は45度
さらさらしている

天ぷら油は高温でないと爆発しない
車で使うには不向き でもとても安全
暖めてあげればさらさらになる

天ぷら油カーには2種類がある

- BDF—薬品を使ってエステル交換
グリセリンをとるとさらさらになる
利点—ディーゼル車であれば何もしなくても利用可能
欠点—薬品を使うこと
処理に有害な物質が生まれる
 - SVO — 暖めてあげるとさらさらになる
利点—ゴミさえとれば使える
欠点—車を仕様変更しないといけない
- 共通点 捨てられる廃油を利用できる



天ぷら油の悪いところ

天ぷら油カーの悪いところ

- 天ぷら油を集めるのが大変
 - 油で汚れてしまう



天ぷらカーの良いところはなに？

天ぷらカーの良いところ

- 捨てられる天ぷら油を使える
燃料代は無料
捨てられる天ぷら油が生きる
CO2が増えない 地球温暖化にならない

ゴミで走る夢の車

さあ 夢の車を作ろう

どうしたらいいの
油をさらさらにするために
熱交換機を取り付けよう

油をきれいにするために
濾過器を作ろう

これで車で走れるよ

テレビで紹介されたよ

さあゴミで走る夢の車を見てみよう